マイタイムライン

個人・家族の行動を記入しましょう

避難場所・集合場所を記入しましょう!

水害のとき

地震のとき

土砂災害のとき

行動	行動の基準
警戒レベル５　大雨特別警報　・　緊急安全確保	
警戒レベル４　土砂災害警戒情報　・　避難指示	
警戒レベル３　大雨警報　・　洪水警報　・　高齢者等避難	
警戒レベル２　大雨注意報　・　洪水注意報	
警戒レベル１　早期注意情報	
平時のそなえ	

赤間 地区タイムライン

赤間地区の避難場所

<指定避難所>

赤間小学校　城山中学校

赤間地区コミュニティ・センター(地震時のみ)

<指定緊急避難場所>　※開設状況は、市HP等をご確認ください

街道の駅赤馬館　スーパービバホーム赤間店

地区の課題　解決のために今後話し合っていきましょう。

- 道路が狭く，車の通行が多い
- 高齢化・人手不足
- 防災意識が低い
- 自主防災組織が機能していない
- 古く老朽化した建物が多い
- 住民票のない学生や外国人への避難の声掛けが難しい
- 自治会に入っていない人やマンション・アパート住民との付き合いがあまりない
- 避難所の備品の準備ができず，避難所での快適性に不安がある

警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区での行動	行動主体
5	大雨特別警報 緊急安全確保			
	警戒レベル４までに必ず避難			
4	土砂災害警戒情報 避難指示			
3	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難	警戒レベル3発令時	支援の必要な要配慮者は避難を開始する 古い家屋に住んでいる人は避難を開始する	対象住民 対象住民
	避難に時間を要する人は避難			
2	大雨注意報 洪水注意報	警戒レベル2相当の 大雨・洪水注意報 発令時	天気予報・降雨量をテレビやスマホで確認する 要配慮者の支援準備をする 古い家屋に住んでいる人は早めの避難を準備する 要配慮者・古い家屋に住んでいる人に呼びかける	地区全体・個人 民生委員 対象住民 民生委員
	避難行動の確認			
1	早期注意情報 （警報級の可能性）			
	心構えを高める			
平時のそなえ			防災担当役員を決める 防災活動の方針・体制を決める　（勉強会等をする） 隣組で助け合う体制をつくる 高齢者・住民の情報・家族構成を把握する 高齢者見守り支援を行う 要配慮者の情報の取り扱いについて話し合う	区の役員，地区全体 各町内の防災担当役員 各組 地区全体 地区全体 区の役員・民生委員・地区全体

マイタイムライン

個人・家族の行動を記入しましょう

避難場所・集合場所を記入しましょう!

水害のとき

地震のとき

土砂災害のとき

行動	行動の基準
警戒レベル５　大雨特別警報　・　緊急安全確保	
警戒レベル４　土砂災害警戒情報　・　避難指示	
警戒レベル３　大雨警報　・　洪水警報　・　高齢者等避難	
警戒レベル２　大雨注意報　・　洪水注意報	
警戒レベル１　早期注意情報	
平時のそなえ	

石丸 地区タイムライン

赤間地区の避難場所

<指定避難所>

赤間小学校　城山中学校

赤間地区コミュニティ・センター(地震時のみ)

<指定緊急避難場所>　※開設状況は、市HP等をご確認ください

街道の駅赤馬館　スーパービバホーム赤間店

地区の課題　解決のために今後話し合っていきましょう。

- 近隣との交流・付き合いが減少している
- アパートの住民（学生他）や自治会未加入者との交流がなく，統一行動がとりにくい
- 高齢世帯が多く若い世帯が少ない
- 自治会活動への参加意識が低い
- 連絡体制が不十分
- 隣組の場所によって危険個所が異なる
- 危険意識・防災意識が低い
- 支援する側とされる側のマッチングが十分ではない
- 個人情報の問題がある

警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区での行動	行動主体
5	大雨特別警報 緊急安全確保			
警戒レベル４までに必ず避難				
4	土砂災害警戒情報 避難指示			
3	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難	指定避難所の開設時	一時避難場所（公民館）を開設する →「これから開設する」旨の連絡 市登録の災害時要配慮者に情報伝達（例：一時避難場所（公民館）開設・気象情報等について）	公民館長・避難所運営班長 各班長⇒隣組長（組織図に沿って） 会長⇔各班班長・隣組長⇒要配慮者
避難に時間を要する人は避難				
2	大雨注意報 洪水注意報	各種情報のレベル2相当時 （キキクル・国交省・宗像市防災情報・NHKニュースなど）	一時避難場所（公民館）開設を検討する 要配慮者避難方針を検討する 区役員LINEを使って防災グループで連絡をとり，今後の動きを共有する	会長⇔各班長 会長⇔各班長 各LINEメンバー
避難行動の確認				
1	早期注意情報 （警報級の可能性）			
心構えを高める				
平時のそなえ		一斉清掃時（6月・10月） 民生委員訪問時	隣組で近隣住民の見守りをする（「避難できる・できない」を把握しておく）	隣組長・民生委員・自治会の連携
		一斉清掃時（6月・10月）・隣組会議	災害時における区民の行動ルールを啓発する	自治会役員（防災役員）
		随時（未登録の人に会った時）	隣組長の連絡先を登録してもらう	隣組長+隣組住民
		一斉清掃時（6月・10月）	市の防災メールに登録してもらう	隣組長+隣組住民
		一斉清掃時（6月・10月）	マップ・タイムラインを共有する	隣組長+隣組住民
		一斉清掃時（6月・10月）	支援者と要支援者のマッチングをする⇒要支援者へ声かけをする	避難誘導班長・隣組長+隣組住民
		石丸地区防災会議開催時	災害時の取り組みに関する会議を実施する　→　区長会議と連携する	防災士+区長
		防災訓練時	備蓄品をチェックする（公民館に1泊2食分を備蓄）	避難所運営班長

マイタイムライン

個人・家族の行動を記入しましょう

避難場所・集合場所を記入しましょう!

水害のとき

地震のとき

土砂災害のとき

行動	行動の基準
警戒レベル５　大雨特別警報　・　緊急安全確保	
警戒レベル４　土砂災害警戒情報　・　避難指示	
警戒レベル３　大雨警報　・　洪水警報　・　高齢者等避難	
警戒レベル２　大雨注意報　・　洪水注意報	
警戒レベル１　早期注意情報	
平時のそなえ	

冨地原 地区タイムライン

赤間地区の避難場所

<指定避難所>

赤間小学校　城山中学校

赤間地区コミュニティ・センター(地震時のみ)

<指定緊急避難場所>　※開設状況は、市HP等をご確認ください

街道の駅赤馬館　スーパービバホーム赤間店

地区の課題　解決のために今後話し合っていきましょう。

- 道が狭い
- 情報の連絡体制が不十分
- ため池に注意する必要がある
- 昼間は若い人がいない
- 高齢化している
- 自主防災組織が機能していない
- 避難所に食料の備蓄がない

警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区での行動	行動主体
5	大雨特別警報 緊急安全確保			
警戒レベル４までに必ず避難				
4	土砂災害警戒情報 避難指示	警戒レベル4 発令時	六畝田・畑以外の地区は自宅で垂直避難をする	地区全体
3	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難	警戒レベル3 発令時	六畝田・畑は土砂災害に注意して，早めに赤間くるみ幼稚園に避難する 要配慮者は組内で見守りをする	地区全体
		避難に時間を要する人は避難		
2	大雨注意報 洪水注意報		ため池の水位や状況を確認する	農事組合
		避難行動の確認		
1	早期注意情報 （警報級の可能性）			
		心構えを高める		
平時のそなえ		役員・組長・新旧引継ぎの時	組ごとに連絡網の確認をする（実際に連絡がつく連絡先を集める）	組長
			組長の代理・補佐役を決める（連絡網が役員⇒各組長の流れなので途切れると困る）	執行部
		9月の防災訓練の時	防災倉庫の備品を確認・点検する，期限を確認する	執行部
			ため池の点検について話し合う	農事組合
			レベル2で水位を見るタイミングを決める	農事組合・執行部
			各家庭で食料品の備蓄をする（3日分）	地区全体（執行部）

マイタイムライン

個人・家族の行動を記入しましょう

避難場所・集合場所を記入しましょう!

水害のとき

地震のとき

土砂災害のとき

行動	行動の基準
警戒レベル５　大雨特別警報　・　緊急安全確保	
警戒レベル４　土砂災害警戒情報　・　避難指示	
警戒レベル３　大雨警報　・　洪水警報　・　高齢者等避難	
警戒レベル２　大雨注意報　・　洪水注意報	
警戒レベル１　早期注意情報	
平時のそなえ	

名残 地区タイムライン

赤間地区の避難場所

<指定避難所>

赤間小学校　城山中学校

赤間地区コミュニティ･センター(地震時のみ)

<指定緊急避難場所>　※開設状況は、市HP等をご確認ください

街道の駅赤馬館　スーパービバホーム赤間店

地区の課題　解決のために今後話し合っていきましょう。

- 緊急時の連絡体制が不十分である
- 高齢者等の要配慮者が多い
- 一時避難場所の備蓄･設備が不足している
- 地域が広く，人口密度が低い
- 土砂災害の危険箇所が多い
- 避難経路になる道路の安全性が低い

警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区での行動	行動主体
5	大雨特別警報 緊急安全確保		個人個人で命を守る行動をする	個人
警戒レベル４までに必ず避難				
4	土砂災害警戒情報 避難指示	警戒レベル4 発令時	現在の情報について収集し，避難所へ通達する 災害伝言板に登録する	情報班 避難者
3	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難	警戒レベル3 発令時	避難誘導の開始･要配慮者を車で避難させる 一時避難場所に備品を設置する	避難誘導班 給食･給水班
避難に時間を要する人は避難				
2	大雨注意報 洪水注意報	警報（レベル3以上）に変わる可能性がある時	要配慮者･高齢者には早めに声かけをして避難を促す 電話をしてかからなかった人に直接訪問する	民生委員･区長･地区全体 避難誘導班
避難行動の確認				
1	早期注意情報 （警報級の可能性）			
心構えを高める				
平時のそなえ		9月の防災訓練で案内する	隣組で助け合う体制をつくる LINEの登録をしてもらう 一時避難場所の来やすい環境を準備しておく 避難経路を複数作る	地区全体 地区全体 救出･救護班･公民館長 避難誘導班･区長
		回覧板･防災訓練	避難時に持ち出すものを共有しておく 一時避難場所に最低限の資材や設備を準備しておく （段ボールベッド，キャンプ用マット，寝袋，TV，ラジオ等）	情報班 救出･救護班･公民館長 区長
		都度	電線部分の木のせり出しは九電に早めに伝えて切ってもらう 山側の木のせり出しは所有者と早めに相談し，伐採する 道路の危険箇所を無くしていく	区長 区長 避難誘導班･区長

マイタイムライン

個人・家族の行動を記入しましょう

避難場所・集合場所を記入しましょう!

水害のとき

地震のとき

土砂災害のとき

行動	行動の基準
警戒レベル５　大雨特別警報　・　緊急安全確保	
警戒レベル４　土砂災害警戒情報　・　避難指示	
警戒レベル３　大雨警報　・　洪水警報　・　高齢者等避難	
警戒レベル２　大雨注意報　・　洪水注意報	
警戒レベル１　早期注意情報	
平時のそなえ	

徳重 地区タイムライン

赤間地区の避難場所

＜指定避難所＞

赤間小学校　城山中学校

赤間地区コミュニティ・センター(地震時のみ)

＜指定緊急避難場所＞　※開設状況は、市HP等をご確認ください

街道の駅赤馬館　スーパービバホーム赤間店

地区の課題　解決のために今後話し合っていきましょう。

- 釣川に接しているので水害が心配される
- 地域の災害の情報が入手できない
- 高齢者へ対応する体制をつくる必要がある
- 災害時の食料の保管場所を検討する必要がある
- 地区が分断されているので広い避難所の設置が難しい
- 住民同士のつながりが少なく情報の伝達方法がない
- 停電時の対応
- 災害や避難についての意識を高める必要がある
- 自主防災組織がうまく機能していない

警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区での行動	行動主体
5	大雨特別警報 緊急安全確保			
	警戒レベル４までに必ず避難			
4	土砂災害警戒情報 避難指示			
3	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難	警戒レベル3 発令時	要配慮者に早めの連絡をする	情報班
	避難に時間を要する人は避難			
2	大雨注意報 洪水注意報	災害注意報発令時	災害情報等を災害連絡網を使って提供する	総務班・福祉班・情報班
	避難行動の確認			
1	早期注意情報 （警報級の可能性）			
	心構えを高める			
平時のそなえ		役員会（9月） 役員会	要配慮者の連絡先をきちんと管理・調査する	福祉班
			避難行動計画を作成し，住民に周知する	総務班
			災害連絡網を整備・更新する	総務班・情報班
			災害時に必要となる物資・食料等について検討し，整備する	総務班
			住民への防災講習会を企画する	総務班
			世代に応じた防災の理解方法を考える	福祉班・総務班
			防災組織の充実を図り，組織を確立する	総務班・防災班

マイタイムライン

個人・家族の行動を記入しましょう

避難場所・集合場所を記入しましょう!

水害のとき

地震のとき

土砂災害のとき

行動	行動の基準
警戒レベル５　大雨特別警報　・　緊急安全確保	
警戒レベル４　土砂災害警戒情報　・　避難指示	
警戒レベル３　大雨警報　・　洪水警報　・　高齢者等避難	
警戒レベル２　大雨注意報　・　洪水注意報	
警戒レベル１　早期注意情報	
平時のそなえ	

田久 地区タイムライン

赤間地区の避難場所

＜指定避難所＞

赤間小学校　城山中学校

赤間地区コミュニティ･センター(地震時のみ)

＜指定緊急避難場所＞　※開設状況は、市HP等をご確認ください

街道の駅赤馬館　スーパービバホーム赤間店

地区の課題　解決のために今後話し合っていきましょう。

- 水害の懸念がある
- 側溝内の土砂清掃が行われていない
- 車道に歩道がついていない
- 公園や空家の管理が不十分
- 近所づきあい･コミュニケーションがとれていない
- 高齢者が多い
- 自治会の加入者が少なく，情報共有が難しい
- 浸水危険への意識が低い
- 公民館に防災グッズ･備蓄がない
- 地区が広域であることから自立した対応が求められる

警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区での行動	行動主体
5	大雨特別警報 緊急安全確保			
	警戒レベル４までに必ず避難			
4	土砂災害警戒情報 避難指示			
3	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難	警戒レベル3 発令時	高齢者は避難を開始する 地区放送やLINEを活用し，避難所開設情報を伝達する	高齢者担当の避難誘導者 区長
	避難に時間を要する人は避難			
2	大雨注意報 洪水注意報	隣組からの要望があり次第	一時避難場所を開設する	隣組長･区長
	避難行動の確認			
1	早期注意情報 （警報級の可能性）		近所で避難体制をとるように声がけをする 情報収集をする	隣近所の人 各個人
	心構えを高める			
平時のそなえ		市との協議の時	要配慮者の担当者を決め，隣組長まで把握する ⇒要配慮者の担当者決めについて市と協議する	役員
		9月の避難訓練時	避難訓練に参加する 避難訓練を実施する	地区全体 区長
		隣組で集まる時	声かけに関するルールづくりを行う 連絡網を作成する	隣組長 隣組長
		防災会議（年1回）の時	自主防災組織の検討をする	役員
		平時	テレビ･ラジオからの情報を収集する LINEに登録してもらう 防災マップを確認する 各個人で備蓄する	各個人 自治会のワーキングチーム 各個人 各個人

マイタイムライン

個人・家族の行動を記入しましょう

避難場所・集合場所を記入しましょう!

水害のとき

地震のとき

土砂災害のとき

行動	行動の基準
警戒レベル５　大雨特別警報　・　緊急安全確保	
警戒レベル４　土砂災害警戒情報　・　避難指示	
警戒レベル３　大雨警報　・　洪水警報　・　高齢者等避難	
警戒レベル２　大雨注意報　・　洪水注意報	
警戒レベル１　早期注意情報	
平時のそなえ	

陵厳寺
地区タイムライン

赤間地区の避難場所

＜指定避難所＞

赤間小学校　城山中学校

赤間地区コミュニティ・センター(地震時のみ)

＜指定緊急避難場所＞　※開設状況は、市HP等をご確認ください

街道の駅赤馬館　スーパービバホーム赤間店

地区の課題　解決のために今後話し合っていきましょう。

- 住民同士の交流が少ない
- 自治会への参加意識が低い
- 防災用具・食料・水の準備がない
- 防災意識が低い
- 高齢者が多い
- 公民館が危険な場所にあり，地区の避難場所が少ない

警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区での行動	行動主体
5	大雨特別警報 緊急安全確保	釣川の氾濫	避難の完了，身の安全を確保する	各自
警戒レベル４までに必ず避難				
4	土砂災害警戒情報 避難指示	水害：釣川の水位80% 土砂：1時間雨量50mm 1日雨量 200mm	要配慮者の避難を確認する	役員
3	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難	大雨警報の発令時 且つ レベル4移行の可能性がある時	土砂災害の危険区域（馬場東，馬場西，馬場中の一部）の住民への避難を促す 水害の危険区域（下松崎）の住民への避難を促す 危険区域地区の住民への避難を促す （馬場東，馬場西，馬場中の一部）→土砂 （下松崎）→水害	各隣組長
避難に時間を要する人は避難				
2	大雨注意報 洪水注意報	警戒レベル2相当の 大雨・洪水注意報 発令時	情報を収集する（テレビ，携帯，ホームページ，市のLINE），自宅待機	各自
避難行動の確認				
1	早期注意情報 （警報級の可能性）	警戒レベル1相当の 注意情報発令時	情報を収集する（自宅待機）	各自
心構えを高める				
平時のそなえ			防災グッズを用意する 個人の持ち物を用意する（薬，マイナンバー，印鑑等） 自宅周辺環境を確認する 防災マップを確認する 連絡網を整備する	各自 各自 各自 各自 役員

マイタイムライン

個人・家族の行動を記入しましょう

避難場所・集合場所を記入しましょう!

水害のとき

地震のとき

土砂災害のとき

行動	行動の基準
警戒レベル５　大雨特別警報　・　緊急安全確保	
警戒レベル４　土砂災害警戒情報　・　避難指示	
警戒レベル３　大雨警報　・　洪水警報　・　高齢者等避難	
警戒レベル２　大雨注意報　・　洪水注意報	
警戒レベル１　早期注意情報	
平時のそなえ	

三郎丸団地
地区タイムライン

赤間地区の避難場所

＜指定避難所＞
赤間小学校　城山中学校
赤間地区コミュニティ・センター(地震時のみ)
＜指定緊急避難場所＞　※開設状況は、市HP等をご確認ください
街道の駅赤馬館　スーパービバホーム赤間店

地区の課題　解決のために今後話し合っていきましょう。

- 連絡体制が弱い
- 役員が毎年交代することでの継続性
- 一時避難場所のスペースと備蓄が不十分
- 高齢者が多い
- 指定避難所までが遠い
- 防災意識が低い

警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区での行動	行動主体
5	大雨特別警報 緊急安全確保	【地震】地震発生後 大雨特別警報 発令時 緊急安全確保 発令時	【地震】2か所の一時避難場所に待機する 安否の確認をする 支援希望者の避難の対応をする 行政との連携をはかる	役員 役員・組長 役員・組長 区長
警戒レベル４までに必ず避難				
4	土砂災害警戒情報 避難指示	警戒レベル4 発令時	公民館を開館・待機する 避難の支援を組長へ要望する 支援希望者の避難（指定避難所）の対応を行う 情報を収集する	役員 住民 組長・役員 各家庭
3	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難	高樹山池下流の水路が あふれた時	公民館を開館・待機する 避難の支援を組長へ要望する 支援希望者の避難（指定避難所）の対応を行う 危険箇所の見回りをする 情報を収集する	役員 住民 組長・役員 役員 各家庭
		避難に時間を要する人は避難		
2	大雨注意報 洪水注意報	警戒レベル2相当の 大雨・洪水注意報 発令時	公民館開館のための検討をする 情報を収集する	役員（区長・公民館長・他役員） 各家庭
		避難行動の確認		
1	早期注意情報 （警報級の可能性）	早期注意情報 （警報級の可能性）	情報を収集する 庭や家まわりの整理をする 防災対策を実施する	各家庭 各家庭 各家庭
		心構えを高める		
平時のそなえ		自主訓練（5～6月に1回） +全国一斉訓練（9月）	自主訓練を実施する 全国一斉避難訓練を実施する 避難マニュアルを作成する 連絡網を確認する 災害のための防災グッズを各家庭で備える 家族間の連絡を確認する 防災情報を日頃からチェックする	区長・公民館長・組長・老人会長 自治会 自治会 自治会 各家庭 各家庭 各家庭

マイタイムライン

個人・家族の行動を記入しましょう

避難場所・集合場所を記入しましょう!

水害のとき

地震のとき

土砂災害のとき

行動	行動の基準
警戒レベル５　大雨特別警報　・　緊急安全確保	
警戒レベル４　土砂災害警戒情報　・　避難指示	
警戒レベル３　大雨警報　・　洪水警報　・　高齢者等避難	
警戒レベル２　大雨注意報　・　洪水注意報	
警戒レベル１　早期注意情報	
平時のそなえ	

葉山
地区タイムライン

赤間地区の避難場所

<指定避難所>

赤間小学校　城山中学校

赤間地区コミュニティ・センター(地震時のみ)

<指定緊急避難場所>　※開設状況は、市HP等をご確認ください

街道の駅赤馬館　スーパービバホーム赤間店

地区の課題　解決のために今後話し合っていきましょう。

- 公民館の避難所としての機能が低い
- 坂道が多い
- 側溝にふたが無いところが多い
- 一時避難場所の手入れ(草刈り等)が必要
- 古い民家や空家が多い
- 地域のつながりや防災意識が低い
- 高齢者・要配慮者が多い
- 要配慮者についての情報共有が不十分

警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区での行動	行動主体
5	大雨特別警報 緊急安全確保			
	警戒レベル４までに必ず避難			
4	土砂災害警戒情報 避難指示			
3	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難	警戒レベル3 発令時	要配慮者・高齢者の避難を支援する 危険箇所（老朽家屋，ふたのない側溝等）に気を付けて（避けて）避難する	防災士（指揮） 民生委員+福祉+区役員（実働） 各個人
	避難に時間を要する人は避難			
2	大雨注意報 洪水注意報	警戒レベル2 発令時	要配慮者・高齢者の避難準備とその声かけをする （昼・夜に分けて動く担当を決めておく）	防災士（指揮） 民生委員+福祉+区役員（実働）
	避難行動の確認			
1	早期注意情報 （警報級の可能性）			
	心構えを高める			
平時のそなえ		年1～2回実施（1日かけて） 定期的に行う 回覧板・葉山だより	地域住民全体での防災教育を実施する（地域の特徴，避難場所，経路等） 例：地域コミュニティの強化のため、地域のまちあるきや被災地への視察等を行う 要配慮者への声かけをする 要配慮者の家族へ連絡する体制・手段を確立する 一時避難場所に備蓄品がないため，緊急時は各自で備蓄品を持ってくるよう周知する タイムライン・地区防災マップを確認してもらうことで，防災意識を向上させる	民生委員，福祉，区役員＋防災士 民生委員，福祉，区役員 民生委員，福祉，区役員 民生委員，福祉，区役員＋各個人 民生委員，福祉，区役員＋各個人

マイタイムライン

個人・家族の行動を記入しましょう

避難場所・集合場所を記入しましょう!

水害のとき

地震のとき

土砂災害のとき

行動	行動の基準
警戒レベル５　大雨特別警報　・　緊急安全確保	
警戒レベル４　土砂災害警戒情報　・　避難指示	
警戒レベル３　大雨警報　・　洪水警報　・　高齢者等避難	
警戒レベル２　大雨注意報　・　洪水注意報	
警戒レベル１　早期注意情報	
平時のそなえ	

緑町 地区タイムライン

赤間地区の避難場所

＜指定避難所＞

赤間小学校　城山中学校

赤間地区コミュニティ・センター(地震時のみ)

＜指定緊急避難場所＞　※開設状況は、市HP等をご確認ください

街道の駅赤馬館　スーパービバホーム赤間店

地区の課題　解決のために今後話し合っていきましょう。

- 公民館の設備不足
- 自治会の行事不足・地域のつながり不足
- 要配慮者が多い
- 日中に若者が少ない
- 情報伝達の方法が未確立
- 防災意識が低い
- 指定避難所までの経路が危険である
- 水害時に孤立する可能性がある

警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区での行動	行動主体
5	大雨特別警報・緊急安全確保			
	警戒レベル４までに必ず避難			
4	土砂災害警戒情報・避難指示	警戒レベル4 発令時	土砂災害の危険性の高い地域は避難する 公民館を開ける 避難したら隣組長→区長へ連絡する	1組葉山側 1組葉山側 区全体、組長、区長
3	大雨警報・洪水警報・高齢者等避難 避難に時間を要する人は避難	警戒レベル3 発令時	土砂災害の危険性の高い地域は避難準備をする 公民館の鍵を持っている人にもらいに行く	1組葉山側 1組葉山側
2	大雨注意報・洪水注意報 避難行動の確認			
1	早期注意情報（警報級の可能性） 心構えを高める			
平時のそなえ		総合防災訓練（9月）← 敬老の日前後 ←	3日分の備蓄品を準備する 防災訓練に参加する 交流を目的とした行事を行う，参加を呼び掛ける 連絡体制を構築する 要配慮者の名簿を作成する	各家庭 各家庭 区全体 区役員 区長・民生委員

マイタイムライン

個人・家族の行動を記入しましょう

避難場所・集合場所を記入しましょう!

水害のとき

地震のとき

土砂災害のとき

行動	行動の基準
警戒レベル５　大雨特別警報　・　緊急安全確保	
警戒レベル４　土砂災害警戒情報　・　避難指示	
警戒レベル３　大雨警報　・　洪水警報　・　高齢者等避難	
警戒レベル２　大雨注意報　・　洪水注意報	
警戒レベル１　早期注意情報	
平時のそなえ	

桜 地区タイムライン

赤間地区の避難場所

<指定避難所>

赤間小学校　城山中学校

赤間地区コミュニティ・センター(地震時のみ)

<指定緊急避難場所>　※開設状況は、市HP等をご確認ください

街道の駅赤馬館　スーパービバホーム赤間店

地区の課題　解決のために今後話し合っていきましょう。

- 地区内に屋根のある避難所がない
- 非常食の備蓄がない
- 昼間に若い人がいない
- 昼間の連絡網（電話）が機能しない

警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区での行動	行動主体
5	大雨特別警報 緊急安全確保		災害の情報に注意しておく	地区全体
警戒レベル４までに必ず避難				
4	土砂災害警戒情報 避難指示	警戒レベル4 発令時	水害時・土砂災害時は各自垂直避難する 緊急情報伝達システム・宗像市防災情報ダッシュボードから情報を入手する	地区全体 地区全体
3	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難			
避難に時間を要する人は避難				
2	大雨注意報 洪水注意報			
避難行動の確認				
1	早期注意情報 （警報級の可能性）			
心構えを高める				
平時のそなえ		9月の総合防災訓練前 (+一斉清掃時)	各家庭で食料を3日分備蓄する あいさつ等の声かけをする 桜地区として，数年に1回非常食を配布することを検討する 連絡網を確認する 地震時の桜花公園に避難することを普及させる	地区全体 地区全体 桜自治会（会計） 桜自治会 桜自治会

マイタイムライン

個人・家族の行動を記入しましょう

避難場所・集合場所を記入しましょう!

水害のとき

地震のとき

土砂災害のとき

広陵台1丁目 地区タイムライン

赤間地区の避難場所

＜指定避難所＞
赤間小学校　城山中学校　赤間地区コミュニティ・センター(地震時のみ)
＜指定緊急避難場所＞　※開設状況は、市HP等をご確認ください
街道の駅赤馬館　スーパービバホーム赤間店

地区の課題　解決のために今後話し合っていきましょう。

- 避難所の機能のある建物がないので各家庭での備蓄が必要となる
- 救護体制づくりが必要
- 情報の伝達手段が限られている
- 要配慮者への対応が未確定
- お年寄りが多く昼間が若い人が少ない

行動	行動の基準	警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区での行動	行動主体
警戒レベル５　大雨特別警報 ・ 緊急安全確保 ／ 地震発生後		5	大雨特別警報 緊急安全確保		★広陵台１丁目では，大雨・台風時は在宅避難を基本とします。 地震を想定しての避難行動やそなえなどについて特記しています。	
					【大雨・台風】 市と連絡・協議をする（避難状況など） 一時避難場所に避難者がいる場合は，健康状態を確認する 命を守る行動をとる	
					【地震】 初動として **連絡**：市と連絡をとり，市の情報や地区内の危険箇所情報等を住民へ知らせる（直接や文書など） **指定避難所**：（要望があれば）要配慮者やけが人を指定避難所へ送る **自主防災対策本部**：公民館に設置し，被害や安否の情報を共有し、対応を協議・実行する **見回り**：2名以上で安否や被害状況の確認に回り、役員に知らせる（要配慮者は早め） **通報**：状況に応じ救急や消防，警察などに通報する **火の確認**：近隣で出火が無いか確かめ，火が出ていたら初期消火に協力して火災拡大を防ぐ **隣・近所での声かけ・救助**：要配慮者を優先に，救助が必要な場合はできる範囲で協力し行う **家庭内の安全確認**：家族の安全が確認できたらタオルや反射テープを門扉にかける **一時避難**：揺れがおさまってから，家族の安全を確認、屋外の安全な場所に **安全確保**：まず身を守る・火の確認（火が出た場合は初期消火を行う） 揺れが小さかった場合も必要に応じて、**緊急連絡票での連絡・要配慮者への対応・見回り確認**を行う	自主防災会役員・委員 自主防災会役員・委員 自主防災会役員・委員 自主防災会役員・委員 自主防災会役員・委員 地区全体 地区全体 地区全体 地区全体 地区全体 自主防災会役員・委員
警戒レベル４　土砂災害警戒情報 ・ 避難指示		警戒レベル４までに必ず避難			地震発生	
		4	土砂災害 警戒情報 避難指示	警戒レベル4 発令時	状況に応じ，市と連絡・協議をする（避難状況など）	自主防災会役員・委員
警戒レベル３　大雨警報 ・ 洪水警報 ・ 高齢者等避難		3	大雨・洪水 警報 高齢者等避難 避難に時間を要する人は避難	警戒レベル3 発令時	要望があれば一時避難場所を開設する 要望があれば要配慮者を指定避難所へ誘導する 必要に応じ緊急連絡表で連絡をとる	自主防災会役員・委員 自主防災会役員・委員 自主防災会役員・委員
警戒レベル２　大雨注意報 ・ 洪水注意報		2	大雨・洪水 注意報 避難行動の確認	注意報 発令時	必要に応じ緊急連絡表で連絡をとる	自主防災会役員・委員
警戒レベル１　早期注意情報		1	早期注意情報 （警報級の可能性） 心構えを高める			
平時のそなえ		平時のそなえ			火災防止，家具・家電等の転倒防止，窓やガラス扉の飛散防止のための備えや手だてを行う 隣・近所での声かけや見まもりをする 各家庭での備蓄（3日分）や防災グッズの準備、家族の連絡体制の確認、ペットの防災対策、家の周りの片付けや整理をする 防災訓練を行って安否確認方法の体制を整え、また、防災会が機能するよう見直しを継続して行う 公民館の防災備品を点検・確認する 要配慮者の情報を把握、共有する 町内の医療関係者への協力を依頼する 井戸水（飲料水）提供の協力を依頼する 市の防災メールの登録・防災速報アプリのインストールを呼びかける 台風や地震のそなえに対し、要支援者や要配慮者から要望があればサポートする ※要配慮者・・・避難行動要支援者、独居者、未就学児のいる家庭など　※自主防災会役員・委員・・・自治会役員、防災士、民生児童委員、正副組長	地区全体 地区全体 地区全体 地区全体 自主防災会役員・委員 自主防災会役員・委員 自主防災会役員・委員 自主防災会役員・委員 自主防災会役員・委員 自主防災会役員・委員

★広陵台１丁目では，安全が確認・確保できれば在宅避難を基本とします
★避難所への避難は基本的に各戸で判断実行する
（避難する場合は、正副組長・役員等に知らせる）

マイタイムライン

避難場所・集合場所を記入しましょう!

個人・家族の行動を記入しましょう

水害のとき

地震のとき

土砂災害のとき

行動	行動の基準
警戒レベル５　大雨特別警報 ・ 緊急安全確保 ／	地震発生後
警戒レベル４　土砂災害警戒情報 ・ 避難指示	
警戒レベル３　大雨警報 ・ 洪水警報 ・ 高齢者等避難	
警戒レベル２　大雨注意報 ・ 洪水注意報	
警戒レベル１　早期注意情報	
平時のそなえ	

広陵台2丁目 地区タイムライン

赤間地区の避難場所

<指定避難所>

赤間小学校　城山中学校

赤間地区コミュニティ・センター(地震時のみ)

<指定緊急避難場所>　※開設状況は、市HP等をご確認ください

街道の駅赤馬館　スーパービバホーム赤間店

地区の課題　解決のために今後話し合っていきましょう。

- 連絡手段が各家庭の電話か対面しかないため情報の入手が難しい
- 防災備蓄が不十分である
- 高齢者が多い
- 住宅の老朽化が今後懸念される
- 指定避難場所が遠い
- 支援・協力体制が不十分
- 防災意識が低い

警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区での行動		行動主体
5	大雨特別警報 緊急安全確保	【地震】 緊急地震速報	【大雨・台風】 命を守る行動をとる	地震発生	各家庭
				【地震】	各家庭
				命を守る行動をとる	各家庭
				家庭毎に安全確認をする	各家庭
				隣組への声かけをする	現:自治会→立ち上げ後:自治防災組織
				一時避難場所に避難する	現:自治会→立ち上げ後:自治防災組織
				各組長が安否確認をして本部に連絡する	各組長
				必要に応じて集会所を開く,防災グッズを使用する	鍵あけは,防災担当→集会所→会長の順
				指定避難所へ誘導する	現:自治会→立ち上げ後:自治防災組織
警戒レベル４までに必ず避難（垂直避難）					
4	土砂災害警戒情報 避難指示	警戒レベル4 発令時	自治防災組織の防災本部を立ち上げる		現:自治会→立ち上げ後:自治防災組織
			組長が緊急連絡網で連絡をとる		現:自治会→立ち上げ後:自治防災組織
			要配慮者へ担当が連絡する(安否確認)		現:自治会→立ち上げ後:自治防災組織
			必要に応じて集会所を開く,防災グッズを使用する		鍵開けは,防災担当→集会所→会長の順
			指定避難所へ誘導する		現:自治会→立ち上げ後:自治防災組織
3	大雨警報・洪水警報 高齢者等避難	警戒レベル3 発令時			
	避難に時間を要する人は避難				
2	大雨注意報 洪水注意報	警戒レベル2相当の 大雨・洪水注意報 発令時	防災担当者が鍵の確認をする		自治会の担当者 (会長,防災担当,集会所担当)
	避難行動の確認				
1	早期注意情報 （警報級の可能性）	ニュースなどで確認	防災情報を把握する(宗像市防災情報など)		各家庭
			家の周りを片付け・整理する		各家庭
	心構えを高める				
平時のそなえ		9月の防災訓練 4月の総会	各家庭で防災グッズや避難場所を確認しておく		各家庭
			家族間の連絡手段を確認しておく		各家庭
			要配慮者への支援体制を継続する		現:自治会→立ち上げ後:自治防災組織
			防災グッズを自治会として備える,期限をチェックする		現:自治会→立ち上げ後:自治防災組織
			自治会の総会で防災情報などを提供する(LINE等の立ち上げが必要)		現:自治会→立ち上げ後:自治防災組織

マイタイムライン

避難場所・集合場所を記入しましょう!

水害のとき

地震のとき

土砂災害のとき

個人・家族の行動を記入しましょう

広陵台3丁目 地区タイムライン

赤間地区の避難場所

<指定避難所>

赤間小学校　城山中学校

赤間地区コミュニティ・センター(地震時のみ)

<指定緊急避難場所>　※開設状況は、市HP等をご確認ください

街道の駅赤馬館　スーパービバホーム赤間店

地区の課題　解決のために今後話し合っていきましょう。

- 地域や公民館での備蓄がない
- 地区放送がない
- 地域の防災や安全に対する意識が低い
- 地域での交流が少ない
- 昼間に若い人が少ない
- 平日は家族が離れた場所にいる

行動	行動の基準
警戒レベル５　大雨特別警報　・　緊急安全確保	
警戒レベル４　土砂災害警戒情報　・　避難指示	
警戒レベル３　大雨警報　・　洪水警報　・　高齢者等避難	
警戒レベル２　大雨注意報　・　洪水注意報	
警戒レベル１　早期注意情報	
平時のそなえ	

警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区での行動	行動主体
5	大雨特別警報 緊急安全確保			
警戒レベル４までに必ず避難				
4	土砂災害警戒情報 避難指示	警戒レベル4発令時	一時避難場所に避難者がいる場合 { 備蓄を提供する(状況に応じて市に連絡) 一時避難場所に避難している人のケガなどの対応をする	避難対応班・連絡班
3	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難	警戒レベル3発令時	避難判断をする　→自宅避難の準備をする →市の指定避難所へ避難する場合は準備をする	個人 個人
			↓一時避難場所へ避難する場合 班長が各班の避難弱者に連絡する 集会所を開ける(要請を受けたら)	班長 避難対応班
	避難に時間を要する人は避難			
2	大雨注意報 洪水注意報	注意報発令時	情報収集をする 集会所の鍵を確認する	地域全体 避難対応班
	避難行動の確認			
1	早期注意情報 (警報級の可能性)			
	心構えを高める			
平時のそなえ			★広陵台3丁目では自宅避難をメインとします　(特に雨に関する警報の時)	
			避難場所の確認・避難方法を確認する(どんな時に要請するか)	個人
			集会所の備蓄を確認する(持参品の有無)	避難対応班
			宗像市防災メールに登録する	個人
			持ち出し品は個人で準備する	個人
			自宅避難に関する知識を身につけておく	個人
			避難弱者を洗い出す(回覧板で募る)	連絡班
			今後やりたいこと ・学校の長期休みに宿題のため子供や保護者を集めて活動 (例;夏休みに集会所開放する) ・防災についてレクチャーをする (例:防災講座の実施・高齢者の参加できるものとして世代間のつながりを)	

マイタイムライン

避難場所・集合場所を記入しましょう!

水害のとき

地震のとき

土砂災害のとき

個人・家族の行動を記入しましょう

行動	行動の基準
警戒レベル５　大雨特別警報　・　緊急安全確保	
警戒レベル４　土砂災害警戒情報　・　避難指示	
警戒レベル３　大雨警報　・　洪水警報　・　高齢者等避難	
警戒レベル２　大雨注意報　・　洪水注意報	
警戒レベル１　早期注意情報	
平時のそなえ	

広陵台4丁目 地区タイムライン

赤間地区の避難場所

＜指定避難所＞

赤間小学校　城山中学校

赤間地区コミュニティ・センター(地震時のみ)

＜指定緊急避難場所＞　※開設状況は、市HP等をご確認ください

街道の駅赤馬館　スーパービバホーム赤間店

地区の課題　解決のために今後話し合っていきましょう。

- 集まる機会が減少し，世帯間のつながりが薄い
- 防災体制を周知できていない
- 防災意識を高める必要がある
- レベル３時の赤間小学校の開設について市へ調整
- 貯水池の泥だまり・側溝の水たまりの整備について市と調整

警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区での行動	行動主体
5	大雨特別警報 緊急安全確保	警戒レベル5　発令時	地区の防災担当者から住民へ連絡する	防災担当者
警戒レベル４までに必ず避難				
4	土砂災害警戒情報 避難指示	警戒レベル4　発令時	全員避難をする	地区の防災担当との連携
3	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難	警戒レベル3　発令時	後期高齢者・要配慮者は避難する 一時避難場所に避難する	地区の防災担当
避難に時間を要する人は避難				
2	大雨注意報 洪水注意報	警戒レベル2相当の 注意報 発令時	自宅で待機する 地区の防災担当者から住民へ連絡する	地区の防災担当
避難行動の確認				
1	早期注意情報 （警報級の可能性）	警戒レベル1相当の 注意情報 発令時	自宅で待機する 地区の防災担当者から住民へ連絡する	地区の防災担当
心構えを高める				
平時のそなえ			防災訓練を繰り返し行う 防災センターの研修（年1回） 防災グッズの整備・見直しをする 防災グッズリストを貼り出す 連絡ツールを整える	自主防災組織 自治会 自治会 自治会 自治会

マイタイムライン

個人・家族の行動を記入しましょう

避難場所・集合場所を記入しましょう!

水害のとき

地震のとき

土砂災害のとき

行動	行動の基準
警戒レベル５　大雨特別警報　・　緊急安全確保	
警戒レベル４　土砂災害警戒情報　・　避難指示	
警戒レベル３　大雨警報　・　洪水警報　・　高齢者等避難	
警戒レベル２　大雨注意報　・　洪水注意報	
警戒レベル１　早期注意情報	
平時のそなえ	

広陵台5丁目 地区タイムライン

赤間地区の避難場所

<指定避難所>

赤間小学校　城山中学校

赤間地区コミュニティ・センター(地震時のみ)

<指定緊急避難場所>　※開設状況は、市HP等をご確認ください

街道の駅赤馬館　スーパービバホーム赤間店

地区の課題　解決のために今後話し合っていきましょう。

- 食料・防災グッズ等の備蓄品が少ない
- 昼間に人が少ない（特に若い人）
- 避難所の鍵開けをする人が限定的
- 防災訓練参加者が少ない
- 広陵台5丁目を対象としたエリアメール設定の検討

警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区での行動	行動主体
5	大雨特別警報 緊急安全確保			
	警戒レベル４までに必ず避難			
4	土砂災害警戒情報 避難指示			
3	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難	警戒レベル3　発令時	高齢者が避難を希望するかを確認する 避難を希望する高齢者の避難誘導をする 避難者の健康状態を確認する	サポート者（ペアの人） 避難誘導班 救出・救護班
	避難に時間を要する人は避難			
2	大雨注意報 洪水注意報	警戒レベル2　発令時	集会所を開設（鍵開け）する 希望者に避難の意思を確認する	会長→副会長→公民館長の順番 サポーターズ倶楽部
	避難行動の確認			
1	早期注意情報 （警報級の可能性）			
	心構えを高める			
平時のそなえ			★広陵台5丁目では大雨時は自宅避難を基本とします	
		一斉清掃時	防災訓練への参加を促し，一時避難場所（集会所）の場所などを共有する	自主防災組織+地区住民
		実施済み（今後も随時）	集会所の鍵所有者の周知→自治会作成のシートに明記し共有する	自治会
		防災訓練時	避難時の点呼方法や一時避難場所（集会所）の開設等について確認する	自主防災組織（避難誘導班）
		防災訓練時	地震時の緑リボンを結ぶタイミング（震度5で結ぶ）と緑リボンの確認方法・伝達方法を共有する	自主防災組織+地区住民
		R5年12月	災害全般において安全確認のための緑リボンを結ぶタイミングを話し合う	自治会
		防災訓練時	緑リボンの購入後に使用方法を練習する　※自治会未加入者にも配布	自治会+地区住民
		防災訓練時	サポート者訓練（一人暮らしの方のサポート）（連絡の取り方共有とルール作り）	サポーターズ倶楽部
		防災訓練時	サポート者訓練（要配慮者のサポート）※病院と連携し個別対応（連絡の取り方共有とルール作り）	サポーターズ倶楽部
		一斉清掃時・防災訓練時	サポーターズ倶楽部への女性加入の声掛けをする	サポーターズ倶楽部
		一斉清掃時・防災訓練時	サポート希望者の確認をする	サポーターズ倶楽部
		防災訓練時	一時避難場所・避難ルートを共有する	自主防災組織（避難誘導班）+地区住民
		防災訓練までに	一人暮らし及び希望者（名簿に記載）とペアのサポート者が1対1の訓練を実施する	サポート者と対象者
		防災訓練時	備蓄品を確認する	給食・給水班

マイタイムライン

避難場所・集合場所を記入しましょう!

水害のとき

地震のとき

土砂災害のとき

個人・家族の行動を記入しましょう

行動	行動の基準
警戒レベル５　大雨特別警報　・　緊急安全確保	
警戒レベル４　土砂災害警戒情報　・　避難指示	
警戒レベル３　大雨警報　・　洪水警報　・　高齢者等避難	
警戒レベル２　大雨注意報　・　洪水注意報	
警戒レベル１　早期注意情報	
平時のそなえ	

マンション赤間１区 タイムライン

赤間地区の避難場所

＜指定避難所＞

赤間小学校　城山中学校

赤間地区コミュニティ・センター(地震時のみ)

＜指定緊急避難場所＞　※開設状況は、市HP等をご確認ください

街道の駅赤馬館　スーパービバホーム赤間店

地区の課題　解決のために今後話し合っていきましょう。

- 防災用の備蓄品（食料・水）が不十分
- 災害時に必要なものがない
  （発電機器，歩行困難者を運ぶ道具，
  エレベーターで災害が起きた場合の対処）
- 要配慮者への対応方法が決められていない
- 住民同士の連絡方法がない

警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区での行動	行動主体〈新しい自主防災組織案〉	
5	大雨特別警報 緊急安全確保				
	警戒レベル４までに必ず避難				
4	土砂災害警戒情報 避難指示				
3	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難	警戒レベル3 発令時	早めに要配慮者へ連絡する 災害時に一斉放送で連絡する	各階の役員 区長・副区長	②連絡班
	避難に時間を要する人は避難				
2	大雨注意報 洪水注意報				
	避難行動の確認				
1	早期注意情報 （警報級の可能性）	警戒レベル1相当の 注意情報発令時	災害に関する情報を掲示板で告知する	区長	②連絡班
	心構えを高める				
平時のそなえ		役員会 総会 役員会 役員交替時（3月） 適宜 役員会 役員交替時（3月） 役員会 役員会 役員会	災害時に必要なものを備える 災害対応のためのグッズを備える（協議） 災害対応のためのグッズを備える（購入） 災害時の対応方法等を学ぶ講習会（企画） 災害時の対応方法等を学ぶ講習会（参加） 具体的な災害時の対応組織を再構築する 要配慮者の状況を調べる 要配慮者への対応方法を考える 災害時の連絡方法を検討する 一斉連絡方法（インターホン）の使用方法を学ぶ	役員全員 全員 役員全員 区長 全員 役員全員 区長 役員全員 役員全員 役員全員	③備蓄班 ①災害総務班 ④災害支援班 ②連絡班

マイタイムライン

避難場所・集合場所を記入しましょう!

水害のとき

地震のとき

土砂災害のとき

個人・家族の行動を記入しましょう

行動	行動の基準
警戒レベル５　大雨特別警報　・　緊急安全確保	
警戒レベル４　土砂災害警戒情報　・　避難指示	
警戒レベル３　大雨警報　・　洪水警報　・　高齢者等避難	
警戒レベル２　大雨注意報　・　洪水注意報	
警戒レベル１　早期注意情報	
平時のそなえ	

桜美台地区タイムライン

赤間地区の避難場所

<指定避難所>

赤間小学校　城山中学校

赤間地区コミュニティ・センター(地震時のみ)

<指定緊急避難場所>　※開設状況は、市HP等をご確認ください

街道の駅赤馬館　スーパービバホーム赤間店

地区の課題　解決のために今後話し合っていきましょう。

- 防災に関する意識が低い
- 他の世帯との関わりが少ない
- 地域で食料を備蓄していない

警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区での行動	行動主体
5	大雨特別警報 緊急安全確保			
警戒レベル４までに必ず避難				
4	土砂災害警戒情報 避難指示			
3	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難	レベル3で避難希望者がいた時 指定避難所開設後	公民館に避難したい場合は組長（連絡がつかない場合は直接町内会長へ）→ 町内会長→防災会情報班長に連絡し，公民館を開ける 状況に応じて指定避難所（赤間小学校）に避難誘導をする	防災会役員・班長 防災避難誘導班
避難に時間を要する人は避難				
2	大雨注意報 洪水注意報			
避難行動の確認				
1	早期注意情報 （警報級の可能性）			
心構えを高める				
平時のそなえ		年2回（9月と1月） 年2回（6月と10月） 常時 1月の防災訓練時 常時	防災訓練の参加者を増やして防災への関心を高める 地域清掃などを通して交流を深め，防災意識を高める 各家庭で防災グッズ・食料の準備，備蓄をしておく 公民館の防災用品を確認し，使いやすくする 防災メール等の受信設定（緊急情報伝達システム、宗像市公式LINE、宗像市防災ダッシュボード等）	自治会 自治会 各家庭 公民館長・公民館の防火管理者 各家庭